

森の中で 聞こえてくるもの。

「世界的な環境問題が叫ばれるなか、森林の重要な役割がクローズアップされています。炭酸ガスの減少をはじめ、気温上昇の抑制、水質保全等々、そして私たちの快適な住環境を支える良質な木材を生産し続けるなど、人の暮らしに重要な役割を、森は担っているといえます。いまわたしたちは、森が語りかけてくる未来へのメッセージに、しっかりと耳を傾けていかなければなりません。」

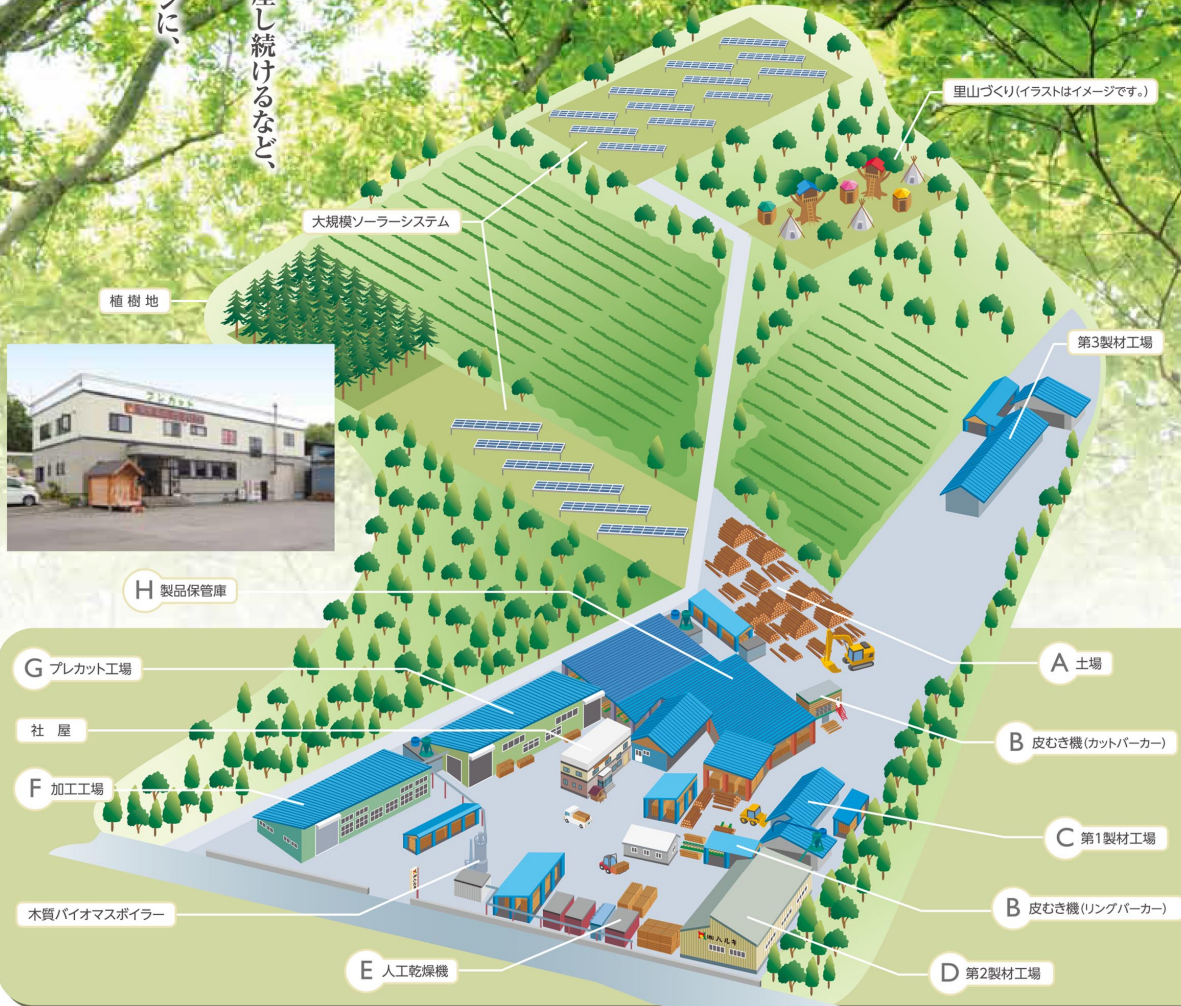
メッセージ

当社は木材の安定供給と地材地消を進めるべく、道産材である「道南杉」や「トドマツ」の製品開発に日々取り組んでおります。お客様に正直で安心できる暖かい住まいを供給すべく社員一丸となり精進してまいります。

株式会社ハルキ
代表取締役 春木芳則



里山づくり(イラストはイメージです。)





プレカットシステム

プレカットとは、木造住宅の柱や梁の継ぎ手、仕口を従来は手工具で加工していたものを機械で行う技術です。CADにより設計プログラムをインプットし、木材を設置するとコンピュータが自動的にカッティング。一棟分の構造材を、オートメーションの流れの中で生産し、優れた職人技であった墨入れと加工が短時間の内に高精度で仕上がります。



熟練の大工さんの技術を、常に高品質に安定してご提供できるのが当社のプレカット加工です。専門のオペレーターによるデータ作成から横架材・柱材兼用機、柱加工機、高速羽柄材三次元切断機、合板加工機、金物工法全自動加工機による加工。そして精度チェックと製品管理まで一括して行うため、迅速・ローコスト・ハイクオリティを実現。

JAS規格製品をご提供 品質主義



当社の製品は、農林水産省認定のJAS規格に適合した品質を有しています。製造施設、品質管理、製品検査、生産行程管理などの体制が十分であると認定され、定期的な監査を受けながら、ハイクオリティの商品をいつでもご提供できるよう全社一丸となって取り組んでおります。お客さまにとっても、商品を選定するひとつの目安として分かりやすく、安心して使っていただきたいという私たちの製品に対する証です。



道南杉 ハル壁シリーズ

杉は檜(ヒノキ)と並ぶ日本の代表的な針葉樹で日本固有の常緑針葉樹。北海道南部地方で伐採した杉を一般的に道南杉と呼んでいます。古来から日本の建築用材に多く使われてきた杉材は弾力性、断熱性などに優れ、冬の厳しい北海道の住宅に適した素材と言えます。

道南杉ハル壁 外装材



オリジナル外装用パネル。赤身の部分の耐朽性はヒノキよりも高いといわれ、腐りにくく、雨風の当たる外部での使用に適しています。

道南杉ハル壁 内装材



木の周辺部分は白色、心部分は赤褐色で見た目に美しく、そのやわらかな性質は転んだりぶつかったりしてもクッション効果あり、お年寄りやお子様にも安心です。

道南杉ハル壁 デッキ材



やわらかな性質は加工がしやすく作業効率が向上します。粘りがあるので折れにくい性質も持ち合わせています。腐りにくく、虫害にも強いのが特徴です。

伐採から製造・製品流通までの工程を徹底管理。安全・安心の

A 土場



●製材前の材が分類されて置かれています。

切り出された丸太を安置し、製材まで自然乾燥します。敷地内にあるため、整理・管理が徹底して行われています。

B 皮むき機



●カットバーカー (大径木)

●リングバーカー (小径木)

製材する前に、原木の皮を剥きます。高速回転する特殊な刃物が付いたバーカーと呼ばれる機械を使い、太さや曲がりに合わせて皮を削っていきます。

C 第1製材工場



●大径木の製材

経験豊かな専門作業員が1本1本正確・丁寧・安全に角材・板材を切り出していきます。大径の丸太専用の製材加工工場です。

D 第2製材工場



●小中径木の製材

小中径木の丸太加工を行います。丸太の充填・加工の流れが機械で無駄なくスピーディーに行われるため、省力化・ローコストに製品化することができます。



環境対策

日本国内に生息する木材は、天然の植物であり、人の暮らしになくてはならない大切な資源です。私たちはこの資源を利用する上で、伐採・加工そして植樹して育てるといったサイクルを産業として行ってきましたが、これらのアクションは今、地球規模の環境対策として取り組んでいかなくてはなりません。人の暮らしに密着した自然環境に私たち企業が積極的に働きかけ、次世代の自然環境を安心して暮らせる住環境として受け継げるシステムの確立が急務となっています。

木質バイオマスボイラー

当社の製品加工時に出る端材やパークを使い、事務所をはじめ工場施設の暖房、木材の乾燥に木質バイオマスボイラーを利用しております。これまでの石油や電気を利用した設備に比べ、低コストおよびCO₂排出量の削減に大きな効果を上げています。さらに限りある化石燃料ではなく、植樹活動により持続的な資源としての木材が燃料となるほか、地元資源の活用につながり、環境保全と地域産業活性化に有効な設備として利用しています。



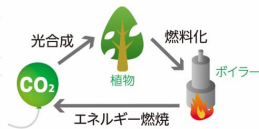
大規模ソーラーシステム



当社敷地内に大規模ソーラーシステムを設置し、省電力化・コスト削減に寄与しています。

カーボンニュートラル

植物が成長過程で取り込むCO₂量と、バイオマスなど植物由来の燃料焼却によるCO₂の排出量が相殺され、実際に大気中のCO₂の増減に影響を与えないという考え方がカーボンニュートラルです。様々な製品の製造過程で排出されるCO₂をバイオマスボイラーなどの稼働で補うなど、CO₂排出を抑える取り組みを実施しています。



国内クレジット

国内クレジット制度は、京都議定書目標達成計画で規定されている、大企業等による技術・資金等の提供を通じて、中小企業や農林運輸業者等が行った温室効果ガス排出削減量を認証し、目標達成等のために活用できる制度です。政府が設置した民間有識者からなる第三者認証機関が認証業務を行っています。2013年、当社の「木質バイオマスボイラーの導入による温室効果ガス削減事業」が承認されました。



カーボンフットプリント

カーボンフットプリントとは、ある商品が作られて廃棄されるまでにかかるコストやエネルギーを二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量に換算し、数値として分かりやすく表示する制度です。当社の「道南杉ハル壁」は、製品1m³当たり220kg-CO₂e。製品製造における環境負荷低減やコスト削減につなげています。



木育活動

木育は、北海道が推進する「子どもをはじめとするすべての人びとが、木とふれあい、木に学び、木と生きる」ことを学ぶ活動として、年々全国各地で広がりを見せています。

当社在籍の木育マイスター（北海道認定制度）が中心となり、木育フェスタへの参加や児童・園児を対象とした各種イベントの主催、さらに地元資源である道南杉を利用したブロックやジャングルジムなど木育遊具の開発などを進めています。



品質は自社の一貫したトレーサビリティにより作りだされます。.....

E 人工乾燥機



●乾燥室に材を並べて乾燥
製材した木材を乾燥室に入れ、最適な温度で人工的に乾燥させます。

F 加工工場



●モルターによる特殊加工
地域材を利用した羽柄材の製造や自社製品等の特殊加工を行っています。精密で安定した製品供給が可能です。

G プレカット工場



●プレカット加工
横架材・柱材兼用機、柱加工機、高速羽柄材三次元切断機、合板加工機、金物工法全自動加工機によるプレカット加工を行っています。

H 製品保管庫



●木材が整理されて保管
常に安定した製品を迅速にご提供するため、加工前の木材を各種保管し、品質・価格の安定供給に努めています。